

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスほのか		
○保護者評価実施期間	令和6年12月5日		～ 令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月8日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	園庭で体を動かすことができる。	日々の支援の中で外遊びの時間を設け、子どもたちが体を動かすことができるようにしている。	現在、外遊びは自由時間としているが、ルールを決めた集団遊びも検討していく。
2	季節のイベントを行っている。	子どもたちがほのかの通所を楽しみにできるように、季節のイベントを実施している。	季節の行事がどうして行われているのか、その行事の歴史を説明する時間を設けることで、知識も蓄えていけるようにする。
3	情報発信を積極的に行っている。	ブログで日々の様子を発信することで、保護者の方がほのかの活動の様子を知れるようにしている。	子どもたちの様子だけでなく、職員の様子なども発信していくことを検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会が実施されていない。	子どもたちがほのかにまだ来ていない平日の日中は保護者が集まりにくい時間帯のため、保護者会の実施ができていない。	土曜日に開催する等、保護者の方が集まりやすい時間帯で保護者会を開催できないか検討していく。
2	児童クラブなど、地域の他の児童との交流がない。	児童クラブとの関わりが無く、職員同士の情報交換もできていない。	児童クラブなど、地域の子どもたちと関わる機会を作ることができないか、手段を模索していく。
3	非常事態時の対応の周知が不十分。	事業所として決めている緊急時の対応方針を保護者に伝えきれていない。	公式ライン等で、定期的に非常時の対応について情報を発信していく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス ほのか
------	--------------

公表日 令和 7 年 3 月 8 日

利用児童数 20名

回収数 16

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	0	0	1	園庭が広く子どもが伸び伸びと遊ぶことができています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	1	3	配置数はわからない。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	3	子どもにわかりやすい環境なのかはわからないが、全てバリアフリーになっていて安全だと思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	2		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	3	子どもの特性を理解し、取り組みを考え提供してくれていると思う。	利用児様に合った取り組みを設定していきます。楽しみながら取り組めるようにします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	2	0	2		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2	0	3	半年に1度の個別支援計画に記載されていると思う。	今後も安心していただけるよう、利用児様を理解し、その方に合った個別支援計画書を作成していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0	少しずつ言葉で伝えることができ、交友関係が増えていると感じる点から、計画に沿っていると感じる。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2	0	1	長期休暇にはお出かけに連れて行ってもらえて普段できない経験ができて嬉しいです。	今後も様々な経験ができるようにプログラムを考えていきます。
保護者 への 説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	0	2	7	あればいいと思うが、特に希望しない。	コロナ禍から交流することはできていない。今後、児童館やココニコなどで交流できる機会を検討していきたい。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0	契約するときに説明があった。	ご不明点がある時はいつでもお尋ねください。再度説明させていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	5	0	9	参加したことがないのでわからない。	家族支援プログラムは行ってないが、要望があれば検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13	3	0	0	何かあれば送迎の時に職員さんが伝えてくれている。	今後も送迎時に様子をお伝えするとともに、何かあればいつでもお気軽にご相談ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	4	0	1	半年に1度、個別支援計画の更新時に電話で話す機会がある。	半年に1度アセスメントをして利用児様の様子や要望をお聞きしていますが、何かあればいつでもご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0	子どもが職員さんのことが大好きなので、職員さんが丁寧に関わってくれているのだと思う。	今後も丁寧な関わりを意識して利用児様に安心して過ごしてもらえよう努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	5	7	特に望んでいない。	父母の会や兄弟向けのイベントの開催はご家庭の負担軽減のため行ってないが、要望があれば検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2	0	3	申し入れをした時には、すぐ対応策を考え行動してくれた。	今後も相談や申し入れがあった際にはすぐ対応していきます。何かあれば遠慮せず、仰ってください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2	0	2	毎日手紙で何をやったか教えてくれている。	外国籍の方にはひらがなやローマ字での対応を行っています。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1	0	1	定期的にホームページのブログで日々の様子を発信してくれている。	今後も定期的にブログにて様子を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2	わからない。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	5	0	8	よくわからない。	保護者様に周知できていなかったため今後、周知方法を検討し周知・説明ができるようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	4	子どもから避難訓練をやったと聞くことがあるので定期的に行っているのだと思う。	3か月に1回いろいろな場面を想定して避難訓練を実施しています。毎回、職員間で反省会を行い次回につなげています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	3	0	3	よくわからない	今後、しっかりと周知の方法を検討していき安心できる事業所づくりをしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	6	怪我をした時には送迎時に職員さんが、怪我をした時の状況と対処したことを知らせてくれる。	事故が起きないように支援しているが、万が一事故や怪我が起きた時には真摯に対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	2	家を出るときににこにこしているので、職員さんと信頼関係が築けているのだと思う。	安心して通所してもらえるように、職員は笑顔で心掛け温かい支援を行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	4	1	0	「明日ほのか？」と言うほど楽しみにしている。	ほのかがか楽しい場となるように支援プログラムを考えていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス ほのか		公表日 令和 7 年 3 月 8 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	安全に楽しく活動できるよう場を分けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	利用人数や利用児の特性に応じて、職員を配置し、より良い支援を行うため、法令で必要とされる配置人数を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	施設内はすべてバリアフリーとなっており、誰でも使いやすくなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	活動に応じて机を移動させるなど、活動が行いやすいように工夫している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	パニックになった時などに別室の静かな場所で落ち着けるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	常に職員間で振り返りや良かった点を話し合い目標を設定している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	年に1度各家庭にアンケートを配布し意見をいただき、それを元に職員間で話し合いをし質の良い支援ができるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		現在は外部評価は行っていないが、必要に応じて検討をしていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	オンライン研修アプリを取り入れ、質の高い研修が受けられるようにしている。	
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	5		ホームページで公表できるよう、体制を整えていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	個別支援計画は、職員全員が目を通し、一貫した支援ができるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	利用児の様子を職員で話し合い、活動のプログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	静と動のバランスを考慮したり、四季の行事に触れるとができるようにしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	ケース記録に支援内容と、その日の出来事を毎日記入している。支援については職員で情報を共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に1回中間評価を行っている。また、常に気になることは職員間で話し合い、情報を共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	0	5		意識できていない部分が多かったため今後改善していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	宿題をする時間は利用児が決めて取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	適宜、相談員と連携をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5		相談員を通して情報共有を行っている。今後必要に応じて対応していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		現在、要望がないため情報提供はしていないが、必要に応じて対応していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	5		スーパーバイズ可能な機関を模索し、研修や助言を受けることができるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		機会がないため交流はしていないが、希望や要望があれば検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や連絡ノート、LINEなどで様子を伝え合っている。知り得た情報は職員間で共有し、共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		保護者を指導することは行っていないが、相談ごとや困りごとには真摯に対応している。
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	利用開始時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	計画作成前には電話等で保護者の要望等をお聞きしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談があれば適宜対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		保護者の負担軽減のため行っていない。要望があれば検討していくが、交流の場は必要ないという声もお聞きしている。

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	知り得た個人情報は外部に漏らさないように、職員に徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	ジェスチャー、イラストなどで伝えている。外国籍の方には保護者の希望により、ローマ字で書いて伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		散歩やお出かけなどで会った地域の人には、積極的に挨拶をするなど交流を心掛けている。事業所招待については検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		マニュアルをしっかりと策定していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	3カ月に1回さまざまな想定で避難訓練を行っている。また、反省点を次回にいかせるようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	職員全体で共有し、食べる前には確認を行い、誤飲・誤食がないようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットが起きた時には書類を作成している。また、職員間で再発防止策を考え話し合う時間を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		外部研修を受けると共に、年に2回オンライン研修を行い全職員で虐待防止について学んでいる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束を行う場合のルールは事前に定めている。		